

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	地域対策関係費										担当課	部課名	生涯学習部村岡公民館			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	13	細目	003	説明	01	課等の長	小川 浩之	電話	6747

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	地域分権型行政への転換を図るための方策として、市民センター・公民館長の判断により、地区内の緊急的な諸課題に対し、迅速な対応を行う。																
対象	1. 個人	市民 (村岡地区)														30,829	人
根拠法令等	条例 (市) 藤沢市都市公園条例・藤沢市都市公園条例施行規則																
事業実施内容	柄沢公園及び天岳公園水飲み場等修繕, 小塚公園樹木剪定作業。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:)																
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)																
	<input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 291 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	192 千円	柄沢公園及び天岳公園水飲み場等修繕ほか
		役務費	99 千円	小塚公園樹木剪定作業
財源内訳	H30年度 支出済額 291 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	291 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.01
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.01

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	8,190	6,221	3,806	-830			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,182	6,240	4,547	388			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	549	549	529	291			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,633	5,691	4,018	97			
	職員数(常勤 非常勤)	0.59 0.00	0.59 0.00	0.43 0.00	0.01 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	5,334	5,370	3,839	92			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	299	321	179	5			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,008	-19	-741	-1,218			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,008	-19	-741	-1,218			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	19.47	420,619	14.63	425,105	8.90	427,501	-1.93	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		緊急・応急対応に関する事業のため、指標の設定はできない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	地域の課題を把握し，課題解決に向けて迅速に対応することが必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	施設の安全確保のために，関係各課と連携を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	緊急的な諸課題に対し迅速に対応し，安心して暮らせるまちづくりの実現を進めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	地区内の緊急を要する諸課題に迅速な対応を図っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
32	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3
37	公園の修繕に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	防災訓練等関係費										担当課	部課名	生涯学習部村岡公民館			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	07	目	01	細目	002	説明	02	課等の長	小川 浩之	電話	6747

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	防災体制の強化と市民の防災意識の高揚を図るため、地区総合防災訓練を実施する。															
対象	1. 個人		市民 (村岡地区)										30,829 人			
根拠法令等																
事業実施内容	第27回村岡地区総合防災訓練を村岡地区内5避難施設(村岡小学校, 新林小学校, 高谷小学校, 藤ヶ岡中学校, 村岡中学校)にて実施した。 ・実施日: 2018年11月17日(土) 5避難施設同日実施 ・参加者数: 5避難施設合計823人															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 村岡地区自治町内会連合会) (委託等内容: 村岡地区総合防災訓練の実施) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (): <input type="checkbox"/> その他 ()															

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 105 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		委託料	105 千円	第27回村岡地区総合防災訓練業務委託
財源内訳	H30年度 支出済額 105 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	105 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.80
再任用短時・任期付短時職員	0.25
非常勤職員	0.00
合計	1.05

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	6,581	4,912	6,547	9,745			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	4,879	4,928	6,361	9,207			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	105	105	105	105			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	6,256	9,102			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.68 0.00	1.05 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	5,987	8,727			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	272	269	375			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	186	538			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	186	538			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	15.65	420,619	11.55	425,105	15.31	427,501	22.70	429,317

成果実績	指標名	地区総合防災訓練の参加者数	目標	800	単位	800	単位	800	単位	800	単位
			実績	873	単位	780	単位	803	単位	823	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			7,538.37	6,297.44	8,153.18	11,840.83					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	各自治会・町内会等で訓練の周知に努めているが，訓練の参加者数が固定化してきている。新たな参加者層の開拓が課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	子ども連れや障がいのある方等が参加しやすい訓練環境を整えるとともに，訓練内容も魅力あるものとなるよう改善を重ねる。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	5ヶ所の避難施設での同時開催という大規模な地区総合防災訓練を開催し，多種多様な訓練プログラムを実施している。地域住民の自衛心と防災意識の向上を図り，地域防災力を強化するうえで中心的な取組となっている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	村岡地区は自治会長・町内会長を中心に住民の防災に対する意識が比較的高い地区である。一方で，区画整理事業等による開発に伴って人口が増加してきており，新住民を含めた全住民に対していかにして各取組を浸透させていくかが課題となっている。このような状況の中，地区総合防災訓練については，実施する訓練プログラムを工夫しながらも規模としては現状を維持して実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
42	地区総合防災訓練の開催について	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	緑の広場設置事業費(地域執行分)										担当課	部課名	生涯学習部村岡公民館			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	002	説明	02	課等の長	小川 浩之	電話	6747

1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内に散在する空閑地を借地して、市民の憩いの場として開放し、災害時の一時避難場所とするなどの有効活用を図り、良好かつ快適な生活環境を図るための維持管理を実施するもの。 (村岡地区 緑の広場2ヶ所)						
対象	1. 個人	市民(村岡地区)					30,829 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市緑の広場の確保に関する要綱						
事業実施内容	地域住民の憩いの場として緑の広場の適正な管理を実施するため、定期的な草刈りや除草、施設の維持管理を実施するもの。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,011 千円	事業費節別内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容		
		需用費	195 千円	緑の広場フェンス修繕		
		役務費	816 千円	緑の広場草刈り作業, 樹木剪定作業		
財源内訳	H30年度 支出済額 1,011 千円	事業費節別財源内訳			平成30年度	
		費目	支出済額(千円)		正規職員等	0.15
		分担金・負担金			再任用短時・任期付短時職員	0.00
		使用料・手数料			非常勤職員	0.00
		国庫支出金			合計	0.15
		県支出金			※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外) +任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員	
		その他()				
一般財源	1,011 千円					

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	3,602	2,934	2,291	2,440			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,921	2,941	2,497	2,456			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,012	1,012	1,047	1,011			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,909	1,929	1,450	1,445			
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.20 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	1,808	1,820	1,383	1,375			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	101	109	67	70			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	681	-7	-206	-16			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	681	-7	-206	-16			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	8.56	420,619	6.90	425,105	5.36	427,501	5.68	429,317

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	緑の広場の維持管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	緑の広場の施設は全体的に老朽化が進んでおり，広場区域の境界であるフェンス等施設も老朽化が進んでいるが，修繕予算には限りがあるので，緑の広場のあり方について検討が必要。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後，要綱や管理方針を検討し，改修等に向けての予算化が必要と考える。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	緑の広場利用者が安全で快適に利用できる環境の維持管理が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	緑は市民の安全で快適な生活を支え，潤いを与えてくれるものである。今後も緑の広場設置事業を実施することにより，緑の防災機能や景観機能，環境保全機能，レクリエーション機能の向上を図る。また，令和元年度から，公園課に事業を移し，全市的な視点に基づいて実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
40	緑の広場の維持管理に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	道路改修舗装費(地域執行分)										担当課	部課名	生涯学習部村岡公民館			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	003	説明	02	課等の長	小川 浩之	電話	6747

1. 事業概要

事業開始年度	平成 24 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地区内道路の歩車道の段差や急な勾配など、歩行者等の通行に支障がある箇所について、段差解消や平坦部の確保を行うなど快適で安全な歩行空間と円滑な通行環境の整備を行う。						
対象	1. 個人	市民(村岡地区)				30,829 人	
根拠法令等	法律等	道路法, 藤沢市道の構造の技術的基準を定める条例					
事業実施内容	歩道等段差解消修繕						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	支出済額	費目	支出済額(千円)		主な事業内容
	1,955 千円	需用費	1,955 千円		高谷交差点段差等解消修繕
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		平成30年度	
	支出済額	費目	支出済額(千円)	正規職員等	
	1,955 千円	分担金・負担金		0.11	
		使用料・手数料		再任用短時・任期付短時職員	
		国庫支出金		0.00	
		県支出金		非常勤職員	
		その他()		0.00	
	一般財源	1,955 千円	合計	0.11	

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	4,177	4,270	1,489	3,252
	(1)現金を伴う支出(千円)	4,228	4,278	2,238	3,015
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,841	1,867	1,948	1,955
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	2,387	2,411	290	1,060
	職員数(常勤 非常勤)	0.25 0.00	0.25 0.00	0.03 0.00	0.11 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	2,260	2,275	277	1,008
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	127	136	13	52
	(2)現金を伴わない支出(千円)	-51	-8	-749	237
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-51	-8	-749	237
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	9.93 420,619	10.04 425,105	3.48 427,501	7.57 429,317	

成果実績	指標名	段差及び路肩を整備した箇所	目標	2	単位 箇所	2	単位 箇所	3	単位 箇所	2	単位 箇所
			実績	3	単位 箇所	3	単位 箇所	3	単位 箇所	2	単位 箇所
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,392,333.33	1,423,333.33	496,333.33	1,626,000.00					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	安全で安心して通行できる歩行空間の整備を進めるには，高額な事業費が必要であることに加え，沿道地権者や住民の理解が必要であるため，速やかな進捗が望めない。
(2) (1)解決のための今後の取組	バリアフリー化を進めるには歩道路面傾斜の改善や高さ調整が必要であるため，今後は本庁担当課工事で施工するよう調整が必要と考える。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域要望等を踏まえ，即効性のある歩行者等の環境整備を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	令和元年度からは，道路所管課が郷土づくり推進会議の提言を踏まえた上で，全市的な視点に基づいて実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
32	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公園管理業務費(地域執行分)										担当課	部課名	生涯学習部村岡公民館			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	02	課等の長	小川 浩之	電話	6747

1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園利用者の利便性と安全性を堅持し、みどり豊かな都市環境の向上を図り、市民に潤いと憩いの空間を提供するため、公園内の樹木剪定や草刈りなど定期的な維持管理を実施するもの。(村岡地区 34公園)						
対象	1. 個人	市民(村岡地区)			30,829 人		
根拠法令等	法律等	都市公園法・都市公園法施行令・都市公園法施行規則・藤沢市都市公園条例・藤沢市都市公園条例施行規則					
事業実施内容	1 公園内の定期的な維持管理 2 公園内の遊器具及び施設の修繕						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 湖南造園株式会社) (委託等内容: 公園の維持(樹木剪定, 草刈, 清掃等)) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (): <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 28,018 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	3,055 千円	地区内公園施設等修繕
		役員費	1,389 千円	地区内公園樹木撤去・剪定作業ほか
財源内訳	H30年度 支出済額 28,018 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	5 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他()				
一般財源	28,013 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	29,777	29,109	30,321	31,033
	(1)現金を伴う支出 (千円)	29,096	29,116	30,215	30,909
	事業費(支出済額-②報酬合計)	27,187	27,187	27,798	28,018
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	1,909	1,929	2,417	2,891
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.20 0.00	0.25 0.00	0.30 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	1,808	1,820	2,305	2,750
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	101	109	112	141
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	681	-7	106	124
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	681	-7	106	124
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	70.79 420,619	68.47 425,105	70.93 427,501	72.28 429,317	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		公園の維持管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-			-			-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	供用開始から時間が相当経過した公園数が多く、老朽化した公園施設の補修が現予算では追いつかない状況である。同様に樹木の成長が非常に著しく、未剪定箇所が多いため、周辺の民地や近隣への影響が差し迫っている状況である。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後、維持管理方針や水準を見直す必要がある。具体的には、樹木の絶対数を減らす伐採の検討や、危険度に応じた改修施設の優先順位付けを行い、長寿命化計画と併せた総合的な対応を検討する取組が必要と考える。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公園利用者が安全で快適に利用できる環境を整備した。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	公園利用者の利便性と安全性を確保するため、公園内の樹木や施設などの適切な維持管理を継続して実施する。また、令和元年度からは、公園課に事業を移し、全市的な視点に基づいて実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
34	街区公園管理業務委託に関する事	無	無	3	3
37	公園の修繕に関する事	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公園愛護会育成費(地域執行分)										担当課	部課名	生涯学習部村岡公民館			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	04	課等の長	小川 浩之	電話	6747

1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	街区公園等の管理(清掃・除草等)を地域住民の協力を得て行うため、公園愛護会(市民により構成される団体)設立を奨励し、地域による公園自主管理組織を育成する。						
対象	1. 個人	市民(村岡地区)					30,829 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市公園愛護活動実施要綱, 藤沢市公園愛護会交付金交付要綱						
事業実施内容	村岡地区内公園愛護会への助成						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (交付金:公園愛護会)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	1,047千円	負担金補助及び交付金	1,047千円	公園愛護会連絡協議会交付金
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	1,047千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	その他()			
	一般財源		1,047千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	3,637	2,970	1,012	2,156			
	(1)現金を伴う支出(千円)	2,956	2,976	1,530	2,011			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,047	1,047	1,047	1,047			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,909	1,929	483	964			
	職員数(常勤 非常勤)	0.20 0.00	0.20 0.00	0.05 0.00	0.10 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	1,808	1,820	461	917			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	101	109	22	47			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	681	-6	-518	145			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	681	-6	-518	145			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	8.65	420,619	6.99	425,105	2.37	427,501	5.02	429,317

成果実績	指標名	公園愛護会数	目標	20	単位 団体	20	単位 団体	20	単位 団体	20	単位 団体	
			実績	20	単位 団体	20	単位 団体	20	単位 団体	20	単位 団体	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		181,850.00	148,500.00	50,600.00	107,800.00						

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	公園愛護会会員の高齢化が進んでいる状況で, 解散する団体や, また愛護会の活動自体だけではなく, 交付金申請書類等の事務手続きが煩雑であることから, 会員への負担となっている状況。
(2) (1)解決のための今後の取組	公園愛護会制度について, 書類の簡素化や制度自体の活動内容などの再検討を行い, 「制度のあり方」について見直しを図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公園愛護会へ助成をすることにより, 公園管理の助力となった。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	公園愛護会制度が市民との協働による公園管理の助力となっているので, 今後も継続する。また, 令和元年度から, 公園課に事業を移し, 全市的な視点に基づいて実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
38-①	公園愛護会の設立に関すること	無	無	1	1
38-②	公園愛護会交付金の交付に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公園改修費(地域執行分)										担当課	部課名	生涯学習部村岡公民館			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	06	課等の長	小川 浩之	電話	6747

1. 事業概要

事業開始年度	平成 24 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地区内公園の維持管理を行うことにより公園利用者の利便性と安全性を保持し、緑豊かな都市環境の向上を図り、市民に憩いと潤いの空間を提供する。						
対象	1. 個人	市民(村岡地区)				30,829 人	
根拠法令等	法律等	都市公園法, 藤沢市都市公園条例					
事業実施内容	公園利用者が安全で快適に利用できる環境をつくるため、遊具や公園施設の補修や更新を実施する。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
	1,262 千円	需用費	1,262 千円	本在寺北公園照明灯修繕											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.11</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.11	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.11
		平成30年度													
	正規職員等	0.11													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.11													
支出済額	費目	支出済額(千円)													
1,262 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金														
	その他()														
	一般財源	1,262 千円													

4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	3,524	3,593	611	13,516
	(1)現金を伴う支出(千円)	3,575	3,601	1,392	2,322
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,188	1,190	1,199	1,262
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	2,387	2,411	193	1,060
	職員数(常勤 非常勤)	0.25 0.00	0.25 0.00	0.02 0.00	0.11 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	2,260	2,275	184	1,008
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	127	136	9	52
	(2)現金を伴わない支出(千円)	-51	-8	-781	11,194
	①減価償却費	0	0	0	10,925
	②退職給与引当金繰入額	-51	-8	-781	269
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	8.38 420,619	8.45 425,105	1.43 427,501	31.48 429,317	

成果実績	指標名	LED照明灯の設置公園数	目標	1	単位	1	単位	1	単位	1	単位	1
					箇所		箇所		箇所		箇所	
	実績	1	単位	1	単位	1	単位	1	単位	1	単位	1
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		3,524,000.00	3,593,000.00	611,000.00	13,516,000.00						

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	材料費や労務費など高騰する中で，予算枠内での事業実施は厳しい状況である。
(2) (1)解決のための今後の取組	限られた予算枠内で事業実施は厳しい状況であるが，製品機能を低下させずに安価な資材選定などにより，事業費を抑制し対応する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域要望等を踏まえ，事業計画に基づいた公園の環境整備が実施できた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	令和元年度からは，公園課が郷土づくり推進会議の提言を踏まえた上で，全市的な視点に基づいて実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
37	公園の修繕に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部村岡公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	小川 浩之	電話	6747

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のため、施設の維持管理を行う。															
対象	1. 個人 市民 (村岡地区)														30,829	人
根拠法令等	条例 (市)															
事業実施内容	公民館運営に必要な非常勤職員への報酬の支払事務、職員・非常勤職員への旅費支払事務、公民館施設の修繕に係る支払事務、公民館内の光熱水費、通信費の支払事務、建物の総合維持管理業務委託、電気工作物保安管理業務委託の支払事務。															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施															
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : マルコービルワーク株式会社, アラキ電気管理事務所)															
	(委託等内容 : 村岡公民館施設総合維持管理, 電気工作物保守点検)															
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)															
<input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 20,866 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	5,388 千円	消耗品費, 施設修繕費, 光熱水費ほか
		役務費	340 千円	電信電話料, ごみ手数料ほか
		委託料	8,344 千円	建物総合維持管理業務委託, 電気工作物保守点検業務委託
使用料及び賃借料	621 千円	ビジネスフォン・印刷機・地域業務用パソコン賃借料ほか		
その他	6,173 千円	地域業務員・地区福祉窓口相談員報酬, 通勤費用, 経常旅費		
財源内訳	H30年度 支出済額 20,866 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	1,996 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (コピー代実費ほか)	159 千円			
一般財源	18,711 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	2.80
合計	3.80

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	69,600	60,650	61,399	36,015			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	49,006	49,558	51,049	30,502			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	14,506	14,579	15,935	14,876			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	34,500	34,979	35,114	15,626			
	職員数(常勤 非常勤)	3.20 2.90	3.20 2.90	3.20 2.80	1.00 2.80			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	27,230	27,513	27,926	9,167			
	②報酬合計(非常勤)	5,901	5,996	5,979	5,990			
	③退職金相当額	1,369	1,470	1,209	469			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	20,594	11,092	10,350	5,513			
	①減価償却費	11,404	11,180	11,028	10,925			
	②退職給与引当金繰入額	9,190	-88	-678	-5,412			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	165.47	420,619	142.67	425,105	143.62	427,501	83.89	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	再整備事業を見据えたうえで施設修繕を行うにあたり，必要修繕の選定。
(2) (1)解決のための今後の取組	市民が安全かつ快適に利用できるよう限られた予算の中で修繕箇所や空調の管理を行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	施設等を良好に維持管理し，利用者の安全と利便を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	施設の維持管理を適切に行い，利用者の安全と利便性を確保する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
10	公民館施設の委託業務契約に関すること	有	無	3	
11	公民館施設の維持管理に関すること	無	無		2
12	館内外の掲示板，展示作品の管理に関すること	無	無	1	1
13	教材・教具等物品の貸出に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館事業費										担当課	部課名	生涯学習部村岡公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	小川 浩之	電話	6747

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	生涯学習を推進するために、あらゆる世代を対象に幅広い内容の事業を実施し、市民の自主的な学習・文化活動の場を提供する。																
対象	1. 個人	市民 (村岡地区)														30,829	人
根拠法令等	法律等	社会教育法															
事業実施内容	公民館講座など計44事業 新規事業9 継続事業35 総実施回数304回 参加者数11,652人 (延べ人数)																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 村岡ふれあいまつり実行委員会 ほか)																
	(委託等内容 : 公民館まつりの企画及び運営 ほか)																
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)																
<input type="checkbox"/> その他 ()																	

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,370 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	892 千円	公民館事業講師謝礼
		需用費	36 千円	消耗品費
		役務費	34 千円	ピアノ調律手数料
		委託料	408 千円	村岡ふれあいまつり業務委託料 ほか
財源内訳	H30年度 支出済額 1,370 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	1,370 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	2.29
再任用短時・任期付短時職員	0.25
非常勤職員	0.00
合計	2.54

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	33,921	25,635	25,132	23,928			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	25,412	25,716	25,760	24,830			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,544	1,602	1,593	1,370			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	23,868	24,114	24,167	23,460			
	職員数(常勤 非常勤)	2.50 0.00	2.50 0.00	2.50 0.00	2.54 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	22,600	22,753	23,048	22,386			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,268	1,361	1,119	1,074			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	8,509	-81	-628	-902			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	8,509	-81	-628	-902			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	80.65	420,619	60.30	425,105	58.79	427,501	55.74	429,317

成果実績	指標名	公民館事業参加者数	目標	13,871	単位	15,441	単位	16,379	単位	12,499	単位
					人		人		人		人
	実績	15,046	単位	15,912	単位	16,238	単位	11,652	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		2,254.49	1,611.05	1,547.73	2,053.55					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	参加人数が極端に定員に満たない事業があり，効果的な周知方法の工夫が必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	全ての事業実施にあたり，より多くの人に目に留まるよう，また周知方法も検討していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	各種公民館講座や村岡ふれあいまつり等において，多くの公民館サークル・地域との連携を図り事業を行うことができた。また，多くの参加者に満足していただく事業を提供することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	公民館サークルや地域団体とも連携を図りながら，地域課題や地域特性を反映した講座や事業を実施していく。また，子どもから高齢者まで幅広い層の人たちが公民館事業に参加しやすい環境を作っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	公民館まつりに関すること	無	無	2	
2	公民館事業に関すること	有	無	1	3
3	公民館事業実績報告に関すること	無	無		1
4	事業の企画・実施活動に関すること	無	無	1	3
16	サークル連絡会に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------